

(357) 鹿島製鉄所におけるエネルギー管理システム

住友金属工業(株)鹿島製鉄所 ○加藤 滋 永井一正 遠藤 勝
井上 健 山下博信 清水光彦

1. 緒言

一貫製鉄所におけるエネルギー需給構造は、製造工程の連続化・製品の多様化・省エネ設備の設置等により複雑化の一途をたどっており、エネルギー最適配分が困難になりつつある。本システムは、環境保全との整合を取りつつ、エネルギーコストミニマムとなる最適配分の実現を狙って開発を進めた。

2. システムの概要

(1) システム構成

本システムは、計画及び実績管理を分担するセンタービジコンシステムと、操業管理を中心とするエネルギーセンタープロコンシステムより構成されている。Fig. 1にシステム構成を示す。なお、環境データは、環境テレメータシステムよりエネルギーセンタープロコンで収集・加工された上、センタービジコンに集約される。

(2) システム機能

管理レベル各層にわたり、エネルギー管理システムと生産管理システム及び環境管理システムがリンクageしており、必要情報をタイムリーに授受し、管理精度の向上を図っている。一方、計画システムの情報を操業システムへ継承させ、計画から実績管理に至る一貫管理システムを構築している。Fig. 2にシステムの機能体系を示す。

3. 効果・便益

(1) 高精度なエネルギー需給予測によるコスト低減

燃料・電力・蒸気等の発生・使用量を精度よく予測することにより、コストミニマムになるエネルギー配分を行なう。Fig. 3に各エネルギーバランスの因果関係とコストの関係を示す。

(2) LDガスの有効利用（ガス放散防止）

(3) 要員の合理化（1名／直×4直）

(4) ガス分析の廃止（BFG・LDG）

操業用ガス分析の自動入力により管理用ガス分析の廃止

(5) 公害防止設備の効率的な運転

4. 結言

本システムは、58年4月より稼動しており、現在新設備増強に対応し、レベルアップ中である。

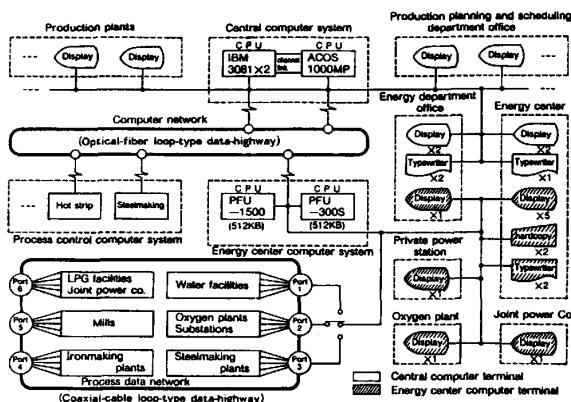


Fig. 1 HARDWARE CONFIGURATION OF TOTAL ENERGY CONTROL SYSTEM

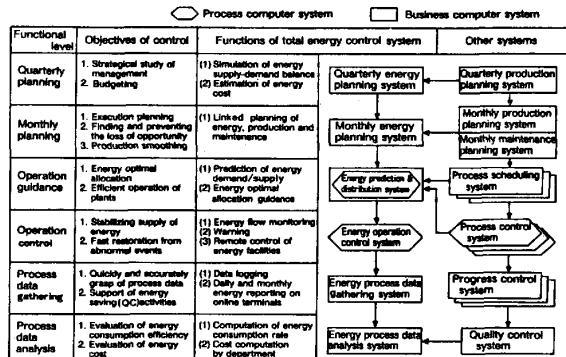


Fig. 2 OBJECTIVES AND FUNCTIONS OF SUB-SYSTEMS

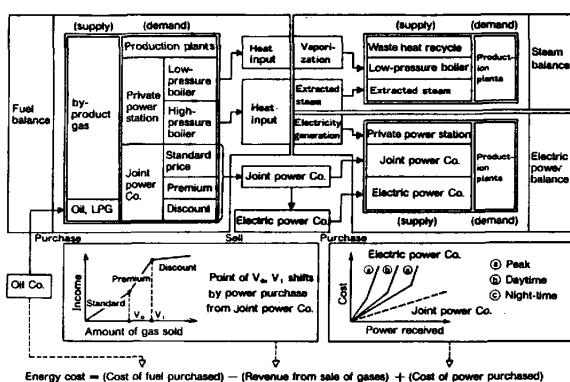


Fig. 3 ENERGY SUPPLY-DEMAND BALANCE AND ENERGY COST